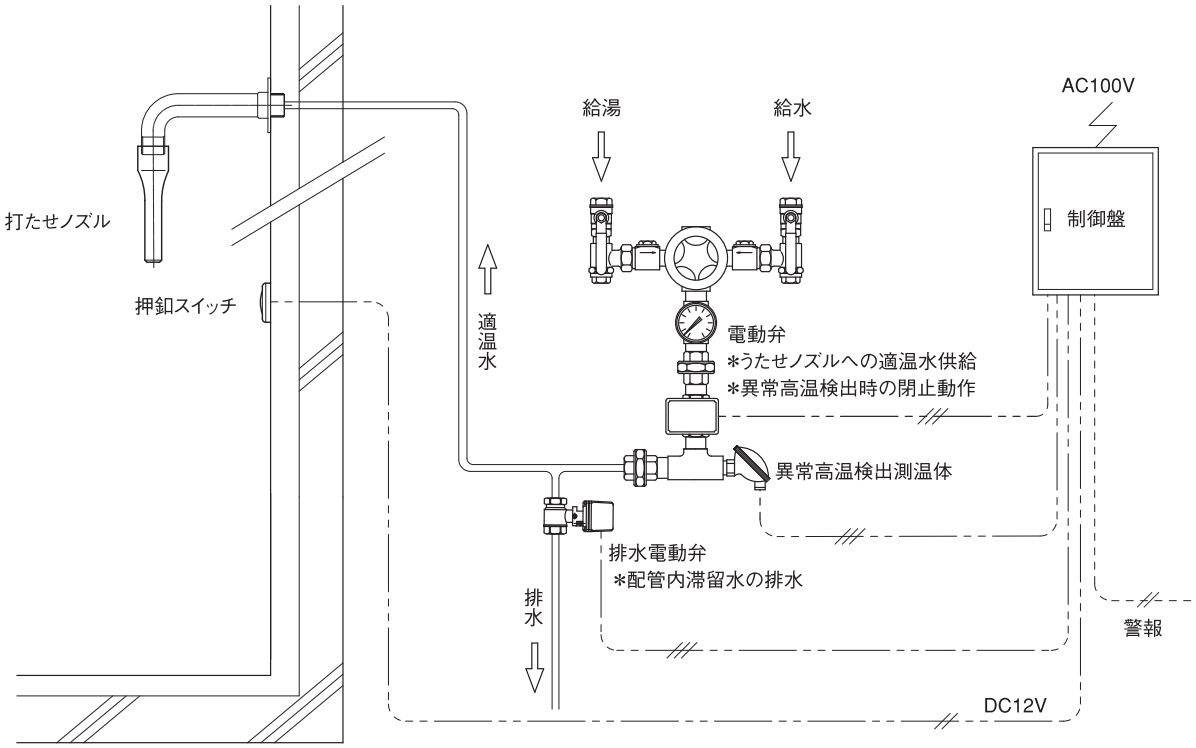
SUIKOH ENGINEERING CO., LTD.

打たせ湯システム

施工・取扱説明書

打たせ湯システムの解説



動作順序の説明

1 押釦スイッチ 1回目押す 《ON》

電動弁開・排水電動弁閉

■打たせノズルより適温水吐水

2 押し釦スイッチ 2回目押す 又はタイマーのタイムアップ ・ 2回目押す迄の時間 又はタイマーのセット時間の 何れか早い方

電動弁閉・排水電動弁開

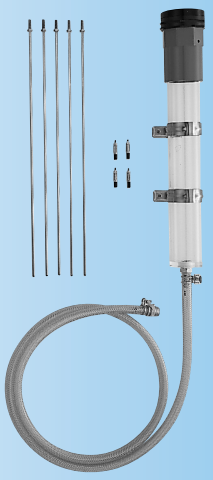
■吐水停止、配管内滞留水排水

3 異常高温検出時

電動弁閉・排水電動弁開

■吐水停止、排水、警報出力

SUIKOH
ENGINEERING
CO., LTD.



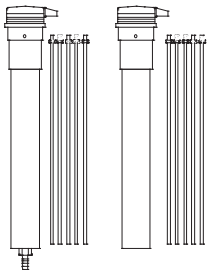
水　位　計

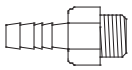
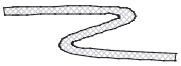
施工・取扱説明書

水位計の施工及び取扱説明書

■部品の確認

梱包内には下記の部品が入っております。取り付けの前にご確認下さい。

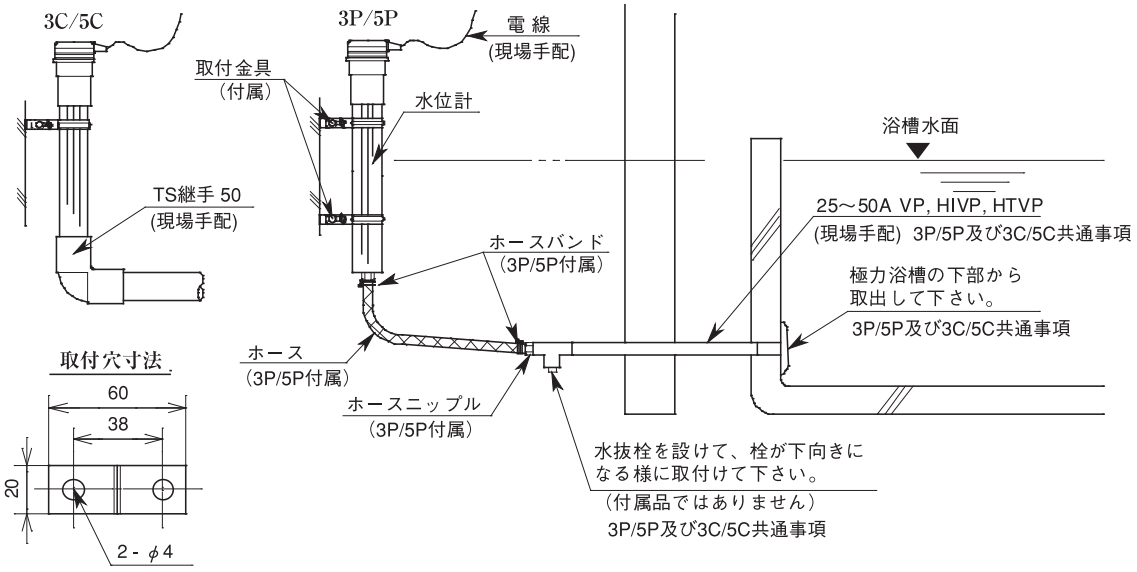
商品名	形　式	個数
水位計本体 電極棒5本 （3C/3Pは3本）	 3P/5P　3C/5C	1　式
取付金具 アンカーボルト付	 AYボルト皿頭M4×40	3P/5P 2セット 3C/5C 1セット

商品名	形　式	個数
ホースニップル		3P/5P 1　個 3C/5C 付属無し
ホース		3P/5P 約2m 3C/5C 付属無し
ホースバンド		3P/5P 2セット 3C/5C 付属無し

■施工上の注意

・浴槽より浴槽金物（別売品）等で25～50A配管を取出し、下記の方法で水位計を配管して下さい。
　また、浴槽の取出し口はできる限り浴槽の底に近い位置に設けて下さい。
・3P/5P付属のホースは、適当な長さに切断してご使用下さい。
・配管及びホースは、浴槽に対して下り勾配とし、浴槽を排水した場合管内の水が浴槽へ戻るように配慮して下さい。
・水位計が垂直になる様に壁面へ固定して下さい。（AYボルトの場合ドリルはϕ7.5mm）
・配管が逆U字等になると水面を検出できない場合がありますのでご注意下さい。
・水位計電極保持器を浴槽水面より低く設定しますと、浴槽水が逆流し水位計の電気部品を損傷させます。

水位計電極保持器は、必ず満水位点より高く設置して下さい。



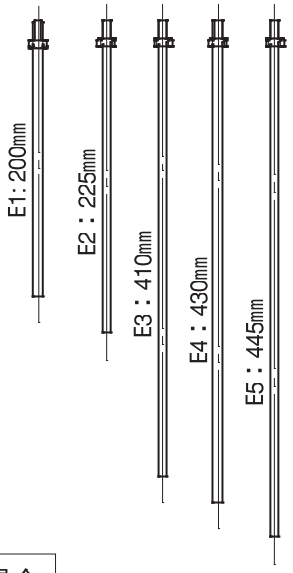
■ 電極棒の切断と取付け

- 電極棒は片ネジの長さ500㎜のもの5本（3P/3Cは3本）が入付品です。
- E1～E5（E1～E3）に使用する各々の長さにネジの反対側で切断して下さい。
- 切断面はバリ等が残らないように処理して下さい。

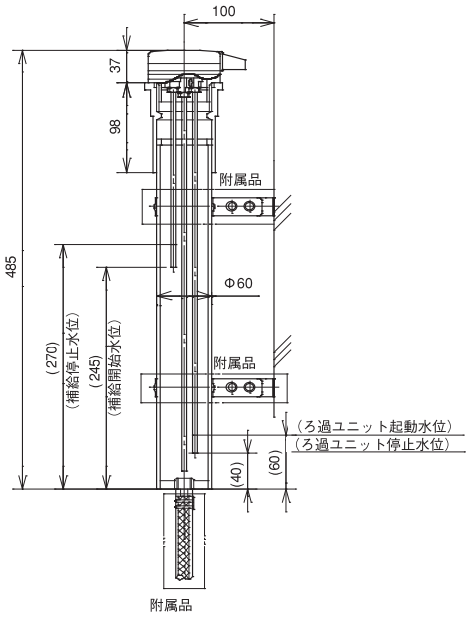
3P/5Pの場合

- 棒の長さは下記を参考の上、設置場所の状況の応じて変えて下さい。
- 3Pの場合はE3を下図のE5の長さにして下さい。

電極棒切断参考寸法



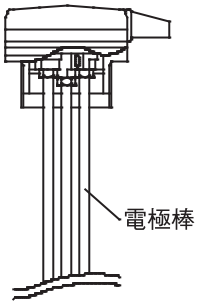
参考寸法の電極棒を取付けた場合の水位検出位置



3C/5Cの場合

- 直結型は微調整が出来ません。浴槽に水を張って満水位点を定め、それに合わせて E1電極棒の長さを決定して下さい。
- E2はE1プラス20～25㎜が一般的です。
- E4はポンプ空転停止です。空運転しない範囲の下限に設定して下さい。
- E3はE4マイナス20㎜が一般的です。
- E5はE4プラス15㎜以上に設定して下さい。

■ 電極棒の取付け



電極保持器の裏面に電極棒取付け用のメネジがありますのでターミナル番号と切断した棒の長さに注意してねじ込んで下さい。

■ 電線の接続

① 水位計のキャップを外して下さい。

② 配線口から電線を引き込んで下さい。

③ E1～E5まで接続して下さい。

E1：補給停止水位

E2：補給開始水位

E3：ろ過ポンプ起動水位

E4：ろ過ポンプ停止水位

E5：コモン（アース）

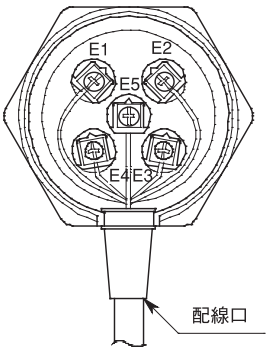
3P/3Cの場合

E1：補給停止水位

E2：補給開始水位

E3：コモン（アース）

5P/5C 用参考図



④ キャップを元通り取り付けて下さい。

※電線は、水面微調整の場合の水位計の上下や電極清掃の場合の保持器の持ち上げに対応出来る様、ゆとりを持たせて下さい。

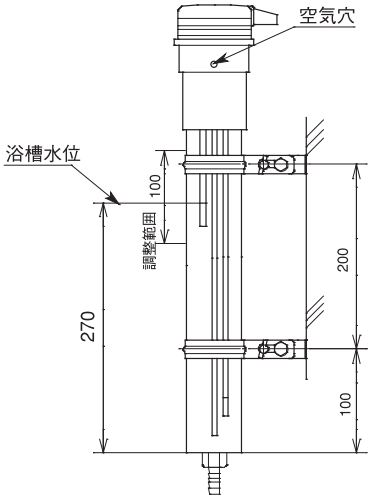
■ 設置後の確認

3P/5Pの場合

・ 浴槽水位の微調整が必要な場合は、水位計、取付金具の蝶ナットをゆるめ、水位計を上下に移動させて下さい。（調整範囲100㎜）

水位計管を上げれば同寸法だけ浴槽水位は上がり、下げれば水位は下がります。調整後、蝶ナットを締めて水位計管を固定して下さい。

3P/5P 用参考図



3P/5P及び3C/5C　共通

・ 希望の水位とならない場合は、まず水位計の接続管内のエアーだまりが考えられます。水位計に水が上がってきていることを確認下さい。

・ 空気穴が塞がれた場合、正確に作動しません。

空気穴が詰まっていないか定期的に確認下さい。

■水位計の清掃

・ 設定水位通りならない場合、水位計の電極棒に汚れが付着している事が考えられます。

電極棒を抜き出し、乾いた布等で定期的に汚れを取り除いて下さい。

（3～6ヶ月に1回程度）

■消毒剤の投入

・ 水位計に消毒剤を投入出来るタイプは、直結型の3C/5Cです。

・ コネクター部を持ち上げ電極棒を全て外部に出してから筒に消毒剤を投入して下さい。

・ 消毒終了後は、筒内に高濃度の薬剤の残留が無い様に配慮して下さい。

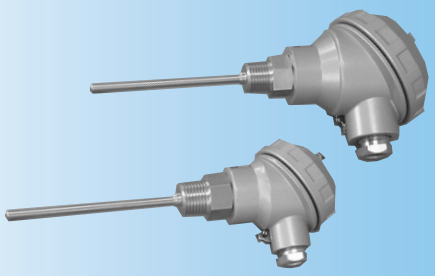
・ 薬剤により電極保持器及び電極棒が損傷する場合がありますので消毒の都度点検を行って下さい。

■その他のご注意

・ 水位計の点検や清掃を行う際に水がでます。また不慮の漏水の二次被害を防止する為、

床面の防水処理や排水設備等、適切な処理を行って下さい。

SUIKOH ENGINEERING CO., LTD.

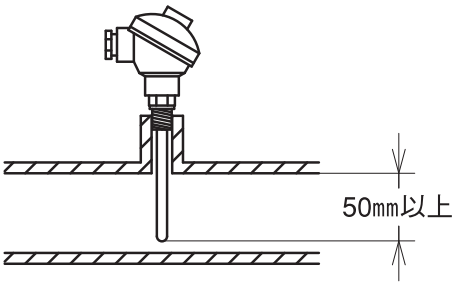


測　温　体

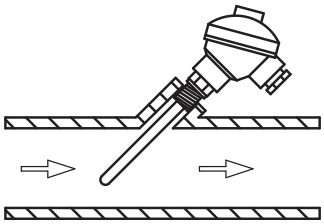
施工・取扱説明書

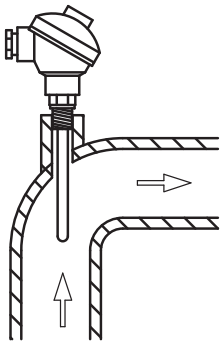
白金測温抵抗体の取付けに関するお願い

標準のPt及びJPt100Ω測温体の感温部長さはねじ下100㎜です。正確な温度検出の
ためには先端から最低50㎜以上の接液が必要です。
配管に取付ける場合は下図を参照の上適切な挿入深さを確保して下さい



挿入深さを十分確保出来る場合





直管に90°方向の取付けで十分な深さが取れない場合は、
斜めからの挿入やエルボ部分からの挿入で十分な差込み
代を確保して下さい。

■感温部の材質はSUS316製とTi製があります。水質により選択して下さい。

■使用するリード線は、3本とも同抵抗で同一長さのものにして下さい。

■過度な振動や加重を避けて下さい。

■防滴仕様ですが、屋外で使用される場合は入線口を下向きにし、
ブッシュで確実に電線が固定されていることをご確認下さい。
必要に応じコーキングで防水処置を行って下さい。

■水質による感温部の汚れで温度表示や温度制御に誤差が出たり、
断線で温度検出が出来なくなる場合がありますので、
定期的に機器の動作確認を行って下さい。
また、必要に応じ感温部の清掃を行って下さい。

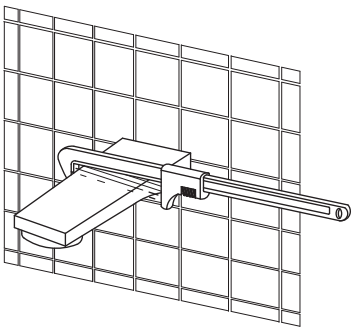
SUIKOH
ENGINEERING
CO., LTD.

吐　水　口

施工・取扱説明書

吐水口の施工及び取扱説明書

■壁取付け型



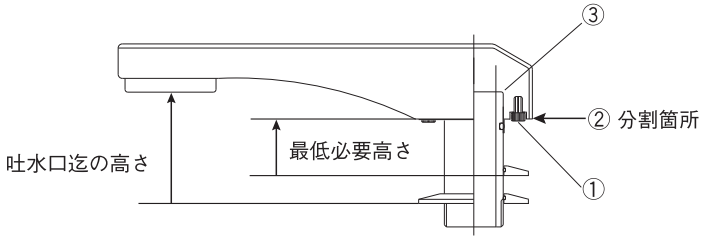
■吐水口はオネジです　　・F2-12S,13Sはネジ長さ22mm
・F2-14S,15Sはネジ長さ27mm

吐水口のオネジを呑み込めるよう配慮して壁内のソケットの出入りを決めて下さい。

■吐水口に柔らかい布などを巻きつけモーターレンチを使用してキズを付けない様に作業して下さい。

■壁内のソケット位置やネジピッチの都合により、タイル面と隙間ができる場合はコーキング等処理を行って下さい。

■框取付け型（自在吐水口）



①6mm六角レンチで本体底面のセットボルト4本を外して下さい。
角フランジが本体から外れます。

②本体部とパイプ部が分割されます。

③パイプ部を配管に取り付けて下さい。
パイプ部の本体挿入側に作業工具用二面加工部があります。

※パイプ部が沈みすぎると組立ての時のセットボルト作業が困難です。

※セットボルトの締付け具合により首振りのトルクが変わります。

型　式	最低必要高さ	45mmで施工時の吐水口迄の高さ
F2-12,13SD	45mm	65mm
F2-14,15SD	45mm	68mm

■標準的には最低必要高さの箇所を60mmで施工して下さい。
この場合吐水口迄の高さは25A・32Aは80mm、40A・50Aは83mmになります。